

洛和会音羽病院

地域連携メニュー

11

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <https://rakuwa-otowa.jp/>

2025 November

人工膝関節置換術における 当院の取り組み ～満足度向上を目指して～

専門分野

 膝・肩関節外科
 骨折外傷
 スポーツ外傷

専門医認定・資格など

 整形外科専門医
 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
 リバース型人工肩関節置換術施行医

 関節外科・人工関節センター
 にしやまほまれ
 医長 **西山 誉**

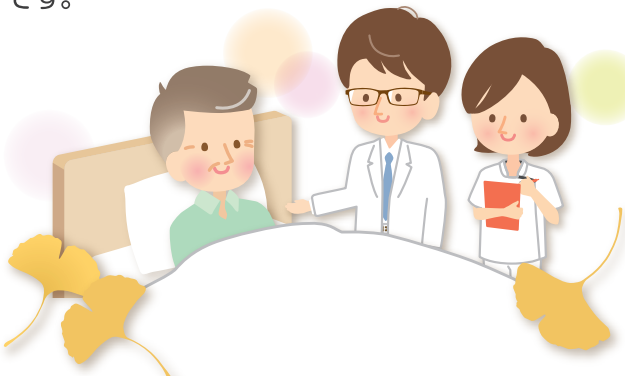
変形性膝関節症は、膝関節の軟骨がすり減ることで痛みや可動域制限を引き起こす疾患です。進行すると「立つ・歩く」といった移動能力が低下し、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を招くことがあります。これは要介護や寝たきりの状態になる大きな要因の一つとされており、変形性膝関節症はロコモ予防の観点からも注意すべき疾患です。

進行した病態に対して行われる**人工膝関節置換術**は、その優れた除痛効果により、国内では年間10万件以上実施される一般的な手術です。高齢化が進む現代において、健康寿命の延伸に貢献する治療法として、その需要は今後も増加すると考えられています。

一方で、「レントゲン上は問題がないにもかかわらず、満足度は必ずしも高くない」という報告もあり、手術の成功を単なる画像的評価ではなく、「より良い機能回復」や「満足度の向上」といった観点から捉えることが求められています。

当院では、より高い満足度を目指し多面的な治療に取り組んでおります。今回はその一部をご紹介します。

裏面へ続く



① 靱帯機能を温存した人工膝関節置換術

「**単顆型置換術 (Unicompartmental Knee Arthroplasty: UKA)**」は、多くの「**全置換術 (Total Knee Arthroplasty: TKA)**」と異なり、**前十字靱帯機能を温存**することが可能です。部分置換であることによる低侵襲性・早期回復に加え、より自然な膝の動きを再現できる点が特長です。全ての症例に適應できるわけではありませんが、膝の状態をMRIなどで詳細に評価し、適應がある症例に対しては積極的に検討しています。

人工膝関節全置換術 (TKA)

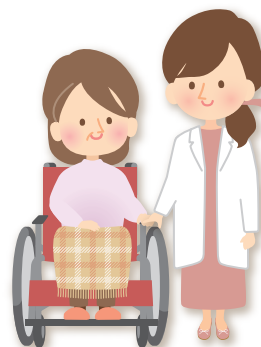


単顆人工膝関節置換術 (UKA)

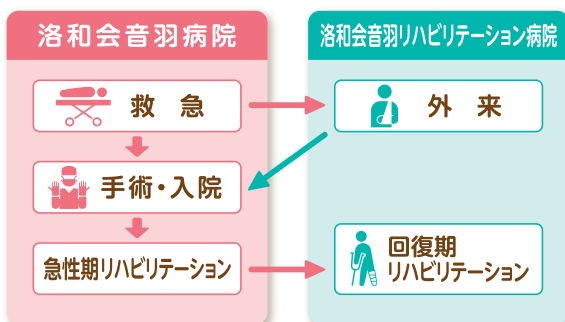


② 術後の疼痛管理

手術を受ける患者さんにとって、最も大きな不安の一つが「術後の痛み」だと思います。当院では麻酔科を中心とした疼痛管理チームが中心となり、**持続大腿神経ブロック**を導入しています。手術前にエコーガイド下でカテーテルを留置し、術後も持続的に鎮痛薬を投与することで、個人差はありますが術後疼痛を大幅に軽減できています。痛みの少ない術後経過は、早期離床やリハビリの意欲向上にもつながっています。



③ リハビリテーション



手術だけで十分な機能回復を得ることは難しく、術後のリハビリテーションが極めて重要です。当院では「**しっかり伸びて、よく曲がる膝**」を目標に、リハビリに力を入れています。当院で手術を行った後は洛和会音羽リハビリテーション病院に転院し、回復期リハビリテーション病棟で十分なリハビリ時間を確保します。患者さんごとに回復速度は異なるため、一律の入院期間は設けず状態に応じて退院時期を相談しています。また、必要に応じて退院後の外来リハビリを継続し、さらなる機能向上を目指します。



これらは当院の取り組みの一端ですが、
私たちは「手術を受けてよかった」と
患者さんに実感していただける医療を目指し、
今後もチーム一丸となって努力を続けてまいります。

洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間 月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通
TEL 075(593)7725
FAX 075(593)4160
E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたらご連絡ください。

医療機関予約専用フリーダイヤル 0120(607)489